

# 2006年版

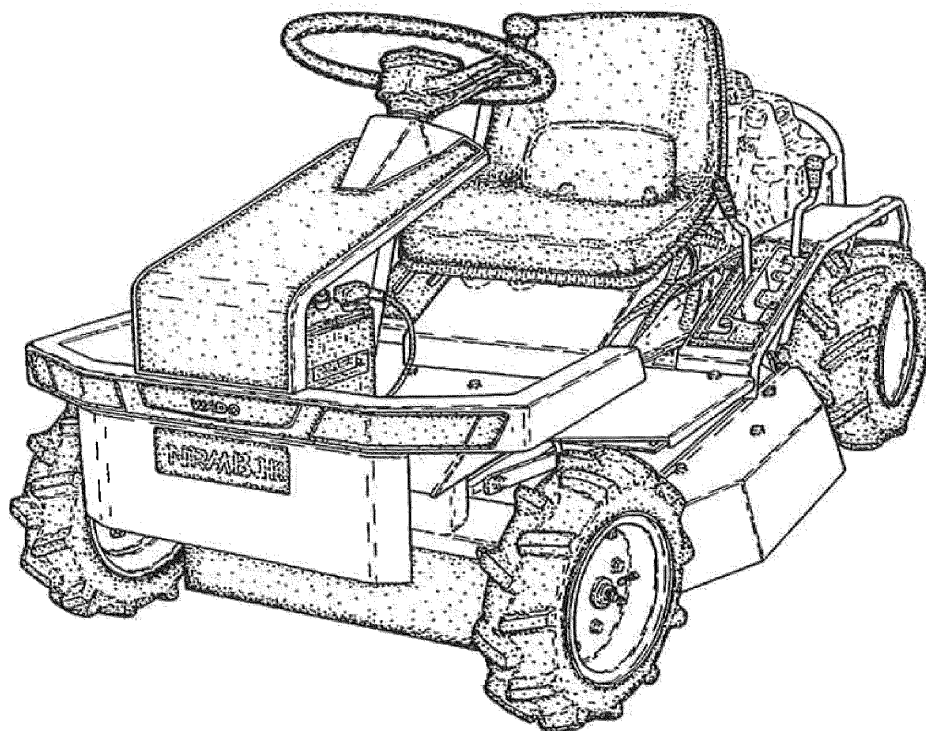
## 取扱説明書

# WADO

## ワドー乗用草刈機

### NRM13JH2

### NRM13JK2







製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず本取扱説明書をお読みください。誤った使いかたをすると、事故を引き起こすおそれがあります。

お読みになった後も必ず製品に近接して保存してください。

# ワド一乗用草刈機を お買い上げいただき、ありがとうございます。

## はじめに

- この取扱説明書はワド一草刈機の使用上の注意事項について記載してあります。ご使用の前には必ず、この取扱説明書熟知するまでお読みの上、正しくお取り扱いいただき、最良の状態でご使用下さい。
  - お読みになった後も、必ず製品に近接して保存して下さい。
  - 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡し下さい。
  - この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかに当社または当社の特約店・販売店にご注文ください。
  - なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
  - ご不明なことやお気付きのことがございましたら、お買上げまたはお近くの特約店・販売店にご相談ください。
  -  印付きの下記マークは、安全上、特に重要な項目ですので、必ずお守りください。
- |   |  |
|---|--|
|  <b>危険</b> | その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。                     |
|  <b>警告</b> | その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。                    |
|  <b>注意</b> | その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるもの、または製品の重大な破損をまねくおそれのあるものを示します。 |

# もくじ

安全に作業するために .....	1
・一般的な注意項目 .....	1
・作業前後の確認時の注意項目 .....	3
・輸送時の注意項目 .....	8
・移動・作業時の注意項目 .....	9
・作業終了後・格納時の注意項目 .....	15
サービスと保証について .....	16
本製品の使用目的について .....	16
1. 警告ラベルの貼付位置 .....	17
2. 各部の名称と取扱い要領 .....	19
3. 運転前の準備・点検 .....	23
4. エンジン始動・停止 .....	24
5. 定期点検・整備一覧表 .....	25
6. 保守・点検 .....	26
7. 上手な刈取りのしかた .....	29
8. 作業後の手入れについて .....	30
9. 配線図 .....	31
10. 故障・修理方法早見表 .....	33
11. 主要諸元 .....	34
12. 標準付属品および主要消耗部品 .....	35

# 安全に作業するために

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む傷害や事故、機械の破損が生じるおそれがあります。

## ●一般的な注意項目



**注意**

「取扱説明書」をよく読んで

本機を使用する前に、必ず「取扱説明書」をよく読んで、十分理解してから使用してください。

取扱説明書に記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む傷害や事故、機械の破損等、が生じるおそれがあります。



**警告**

こんなときは運転しない

- 過労・病気・薬物の影響、その他の理由により作業に集中できないとき
- 酒を飲んだとき
- 妊娠しているとき
- 18歳未満の人
- 運転が未熟な人



**警告**

すべりにくい靴・手袋などの作業に適した服装を心掛けてください

はち巻き、首巻き、腰タオルは禁止です。

ヘルメット、すべり止めの付いた長靴、手袋を着用し作業しやすいだぶつきのない服装をしてください。

【守らないと】

機械に巻き込まれたり、すべって転倒し、ケガをするおそれがあります。





**警告**

### 草刈り以外の作業は絶対禁止

本機は草刈機です。草刈り目的以外の使用は絶対しないでください。

**【守らないと】**

機械の故障、事故・ケガをまねくおそれがあります。



**警告**

### 機械を他の人に貸すときは

取扱方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を必ず読むように指導してください。

**【守らないと】**

説明不足により死亡事故や重大な傷害、機械の破損をまねくおそれがあります。



**警告**

### 機械の改造や指定以外のアタッチメントの装着禁止

改造をしないでください。

**【守らないと】**

機械の故障、事故・ケガをまねくおそれがあります。



**警告**

### 機械の中に手を入れない

カバーの中には回転部や可動部があり、むやみに手などを入れると大変危険です。やむをえないときは必ずエンジンを停止してからにしてください。

**【守らないと】**

回転物などに巻き込まれ、傷害事故をまねくおそれがあります。

●作業前後確認時の注意項目



**危険**

**注油・給油・点検はエンジンが冷めてから行う**

エンジン回転中や、エンジンが熱い間は、絶対に注油・給油・点検をしないでください。

**【守らないと】**

燃料などに引火して、火災の原因となることがあります。



**危険**

**燃料補給時は火気厳禁**

燃料補給時は、くわえ煙草や裸火照明は、絶対にしないでください。

**【守らないと】**

燃料に引火し、火災おこすおそれがあります。



**危険**

**バッテリー点検時は火気厳禁**

バッテリーの点検時、液層キャップを開けたときは火気厳禁です。

**【守らないと】**

火災事故を引き起こすことがあります。



**危険**

**機械の下にもぐったり、足を入れない**

機械の下にもぐったり、足を踏み込んだりしないでください。

**【守らないと】**

何かの原因で機械が動いたときに、傷害事故を起こすおそれがあります。



警告

### 排気ガスには十分に注意

締切った屋内などではエンジンを始動しないでください。エンジンは風通しのよい屋外で始動してください。やむを得ず屋内で始動する場合は、十分に換気してください。

【守らないと】

排気ガスによる中毒を起こし、死亡事故にいたるおそれがあります。



警告

### 燃料もれに注意する

燃料パイプが破損していると、燃料もれをおこしますので必ず点検してください。

【守らないと】

火災事故を引き起こすことがあります。



警告

### 燃料タンクキャップをしめ、こぼれた燃料はふき取る

燃料を補給したときは、燃料タンクキャップを確実にしめ、こぼれた燃料はきれいにふき取ってください。

【守らないと】

火災事故を引き起こす原因になります。



警告

### バッテリー液は体につけないように

バッテリー液を身体や服につけないようにしてください。万一付着したときは、すぐに水で洗い流してください。

【守らないと】

服が破れたり、火傷します。



### バッテリーの取り付け取り外しは正しい手順で

バッテリーを取り付けるときは+側をさきに取り付け、取り外すときは-側から取り外します。

【守らないと】

ショートして、火傷や火災事故の原因となります。



### バッテリー端子の接続は正しく確実に

バッテリー端子の+側と-側を接触させたり、+側を機械に接触させないでください。

【守らないと】

ショートして、火傷や火災事故の原因になります。



### 必ず指定のバッテリーを使用

バッテリーを交換するときは、必ず取扱説明書で指定された容量のバッテリーを使用してください。

【守らないと】

火災の原因となることがあります。



### 電気部品・コードは必ず点検

配線コードが他の部品に接触していないか、被覆のはがれや接触部のゆるみがないかを毎作業前に点検してください。

【守らないと】

ショートして、火災の原因となることがあります。



### 刈取りする地域の異物はあらかじめ取り除く

あらかじめ刈取りする地域の木片・ビニール・ビン・カン・ホース・ナワ・布切れ・およびその他の異物をすべて取り除いてください。

【守らないと】

刈取り作業中に取り込んだ異物などが飛び出し、思わぬ傷害事故をまねくおそれがあります。



### マフラー・エンジンのゴミは取り除く

マフラーやエンジン周辺部にゴミや燃料など付着していないか作業前に点検し、付着していれば取り除いてください。

【守らないと】

火災事故やオーバーヒートを引き起こすおそれがあります。



### 点検整備は平坦で安定した場所で行う

交通の危険がなく、機械が倒れたり動いたりしない平坦で安定した場所で点検整備をしてください。

【守らないと】

機械が転倒するなど、思わぬ事故をまねくおそれがあります。



### 作業前には必ず安全装置を確認する

作業前に安全装置の取扱いと、エンジン停止の状態適切に働くかを確認してください。

【守らないと】

安全装置が作動せず、死亡事故や重大な事故をまねくおそれがあります。



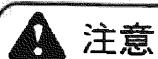
**警告**

**作業前には必ず刈刃の締付け状態を確認する**

作業前に刈刃の締付け状態を確認してください。また、ボルト・ナットが磨耗してしましたら、交換してください。

**【守らないと】**

刈刃が外れて飛び出し、死亡事故や重大な事故をまねくおそれがあります。



**注意**

**作業前・後は必ず機械の点検をする**

作業の前と後には必ず機械の点検をしてください。特に操縦装置は、確実に作動することを確認してください。作動不良の場合は、確実に作動するように調整してください。

**【守らないと】**

整備不良による事故や機械の故障を生じるおそれがあります。



**注意**

**カバー類は必ず取り付ける**

点検・整備などで取外したカバー類は、必ず取り付けてください。

**【守らないと】**

機械に巻き込まれたりして、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



**注意**

**点検・整備は過熱部分が十分冷めてから**

エンジン・マフラ・ミッションなどの過熱部分が十分に冷めてから点検・整備をしてください。

**【守らないと】**

火傷をするおそれがあります。



**注意**

ベルトを交換したり機械の点検・掃除・注油をするときはエンジンを停止する

【守らないと】

思わぬ傷害事故の原因となります。

●輸送時の注意項目



**警告**

積み込み・積み降ろし作業は、誘導者をつける

トラックなどからの積み込み・積み降ろし作業は、誘導者をつけて、周囲の安全を十分確認してください。

【守らないと】

転落などの事故をまねくおそれがあります。



**警告**

トラックへの積み込み時、長さ・強度・幅の十分あるアユミ板を使用する

アユミ板は丈夫ですべり止めのある、基準にあったものを使ってください

【守らないと】

アユミ板が折れたりして転倒し、傷害事故を起こすことがあります。

<アユミ板の基準>

強度：機体の重量に十分耐えるもの

幅：タイヤ幅の1.2倍以上

長さ：荷台の高さの4倍以上

：すべり止めのあるもの

：フックのあるもの



**警告**

ロープでトラックに確実に固定する

トラックに乗せて移動するときは、強度の十分あるロープでトラックに機械を固定してください。

【守らないと】

荷台から機械が転落したりして、事故をまねくおそれがあります。



**警告**

### アユミ板の上ではステアリングの操作厳禁

トラックへの積み込み、積み降ろしは、アユミ板の上で進路変更をする事がないように進路を定めて最低速度で行い、ステアリングの操作は絶対にしないでください。

**【守らないと】**

転落などの事故をまねくおそれがあります。



**注意**

### 積み込み・積み降ろし作業は、刈取クラッチレバーを必ず「切」位置にし、刈高調節レバーを「移動」位置にして行う

トラックへの積み込み・積み降ろしのときは、刈取クラッチレバーを必ず「切」位置にし、刈高調節レバーを「移動」にして行ってください。

**【守らないと】**

傷害事故をまねくおそれがあります。

## ●移動・作業時の注意項目



**危険**

### 運転席以外に人は乗らない

運転席以外には絶対のらないでください。また、人を乗せないでください。

**【守らないと】**

機械からの転落事故や重大な傷害事故をおこすことがあります。





**危険**

詰まった草や異物を取り除くときは必ずエンジン停止

刈取部に草や異物が詰まった場合には、必ずエンジンを停止し、各動作部が完全に止まっていることを確認してから、取り除いてください。

【守らないと】

衣服が巻き込まれたり、傷害事故や機械の破損をまねくことがあります。



**警告**

エンジン始動時はブレーキを踏み、刈取クラッチレバーを「切」位置にし、刈高調節レバーを「移動」位置にし運転席に着席する

【守らないと】

機械が急発進してケガをするおそれがあります。



**警告**

機械の回りに人や動物を近づけない

特に子供には十分注意し、近づけないようにしてください。また後退するときは後方の安全を確認してください。

【守らないと】

思わぬ傷害事故の原因になります。



**警告**

坂道は走行注意

急な坂道は走行しないでください。やむをえず坂道を走行する場合は、転倒やスリップに気を付けて、最低速度でゆっくり移動してください。

【守らないと】

機械が横転、暴走などの思わぬ事故を引き起こす原因となります。



**警告**

### 坂道では駐車禁止

やむを得ず坂道の途中で駐車するときは、必ず車止めをして、駐車ブレーキを確実にかけてください。

【守らないと】

機械が動き出し、事故の原因となります。



**警告**

### 凍結路は十分注意し低速で

凍結した滑りやすい路面ではなるべく作業しないでください。やむを得ない場合は、十分注意し低速で行ってください。

【守らないと】

転倒事故などの原因になります。



**警告**

### わき見運転や手放し運転は禁止

【守らないと】

傷害事故原因となります。



**警告**

### 機械から離れるときは平坦地に置きエンジンをとめる

機械から離れるときには、平坦で安定した場所に置き、刈高調節レバーを「移動」位置にしエンジンを止め、エンジンスイッチキーを抜く。やむを得ず傾斜地に置く場合は、必ず車止めをし、駐車ブレーキをかけてください。

【守らないと】

機械が動きだし、事故の原因となります。



夜間や、視界の悪いときには作業をしない

【守らないと】

視界不良により事故などの原因になります。



刈刃が回転中は危険、近づき禁止

刈刃が回転中は刈取部付近に近づかないでください。周囲の安全を確かめてから刈取クラッチレバーを操作してください。

【守らないと】

刈刃に巻き込まれて傷害事故の原因になることがあります。



急な発進・停止・旋回やスピードの出し過ぎ禁止

発進・停止はゆっくりと行ってください。旋回するときは十分速度を落としてください。また、傾斜地や凸凹道やカーブの多い場所では十分速度を落としてください。

【守らないと】

機械の破損、事故の原因となります。



機械の異常に気付いたらすぐにエンジンを停止

異物が当たったり、巻き付いたり、異常振動、異音、異臭などに気付いたら速やかにエンジンを停止し、過熱部が冷めてから点検してください。

【守らないと】

機械の故障、事故、ケガをまねくおそれがあります。



### 回転部に手・足・顔を近づけない

回転している部分や、刈取部に手・足・顔を絶対に近づけないでください。

【守らないと】

巻き込まれたり、飛散物などにより思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。



### 燃えているゴミの上や、その近くは走行禁止

【守らないと】

燃料やオイルなどに引火して、火災になるおそれがあります。



### 公道走行禁止

本機は小型特殊自動車型式認定の対象外のため、型式認定を受けることができません。したがって法令により公道を自走することができません。トラック等に載せて移動してください。

【守らないと】

交通事故をまねくおそれがあります。



### 移動時は路肩に注意

溝のある場所や傾斜している場所では、路肩に十分に注意してください

【守らないと】

転落事故を起こすことがあります。



**注意**

傾斜面を横切っでの作業は行わない

【守らないと】

転倒事故を引き起こす原因となります。



**注意**

周囲の安全を確かめ低速で発進する

急発進や急旋回をしないで周囲の安全を確認して、ゆっくりと発進してください。

【守らないと】

思わぬ事故をまねくおそれがあります。



**注意**

移動時には刈取クラッチレバーを「切」位置に必ずし、刈高調節レバーを「移動」位置にする

【守らないと】

思わぬ傷害事故をまねくおそれがあります。



**注意**

刈刃への巻き込まれに注意

刈取作業時以外は、刈取クラッチレバーを「入」位置にしないでください。刈刃が回転し危険です。

【守らないと】

巻き込まれて傷害事故の原因になることがあります。

●作業終了後・格納時の注意項目



**危険**

シートなどは機械が十分冷めてからかける

【守らないと】

火災事故を引き起こすことがあります。



**警告**

長期格納時は燃料を抜きバッテリーを外す

長期間使用しないで格納する場合は、燃料タンク・気化器内の燃料を抜きバッテリーを取り外してください。

【守らないと】

燃料が変質してエンジンの不具合を起こしたり、火災の原因となることがあります。

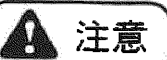


**注意**

機械の掃除・点検をするときはエンジンを停止する

【守らないと】

機械に巻き込まれてケガをするおそれがあります。



**注意**

定期点検・整備を受けてください

1年毎に定期点検・整備を受け、各部の保守をしてください。特に、燃料パイプや電気配線は2年毎に交換してください。

【守らないと】

整備不良による事故や機械の故障を生じるおそれがあります。

## サービスと保証について

---

### 保証について

「保証書」はお客様が保証修理を受けられる際に必要となる物です。お読みになった後は大切に保管してください。

### アフターサービスについて

機械の調子が悪いときに、お買上げいただいた販売店、農協、お近くの当社支店、営業所までご連絡ください。

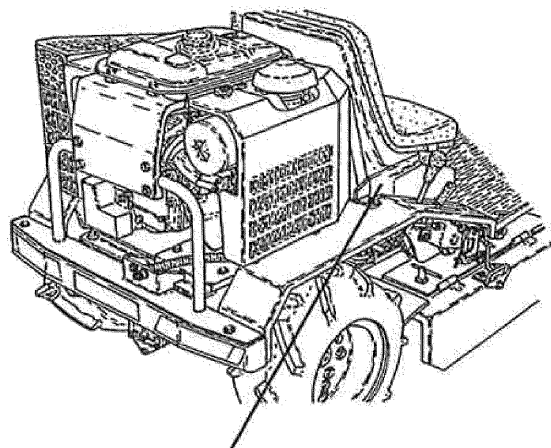
ご連絡していただきたい内容

ご使用機の型式名と製造番号

型式名 : \_\_\_\_\_

製造番号 : \_\_\_\_\_

故障内容 (できるだけ詳しく) \_\_\_\_\_



型式名と製造番号

### 補修部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限(期間)は製造打ち切り後9年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます

---

## 本製品の使用目的について

---

本製品は草刈り作業にご使用ください。

使用目的外の作業や改造などは決して行わないでください。


使用目的外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりませんのでご注意ください。

(詳細は保証書をご覧ください。)

# 1. 警告ラベルの貼付位置

警告ラベルは使用者および周囲の作業員などへの危険を知らせる大事な物です。ラベルが損傷した場合はできるだけ早く貼り替えてください。

なお、注文の際には、この図に示す部品番号をお知らせください。

<b>▲ 注意</b>	
 使用前に取扱説明書をよく読んで安全で正しい作業をしてください。	
<b>始 動</b> ● エンジン始動時や刈取装置の駆動レバーを操作するときは、かならず周囲に人がいないことを確認してください。	<b>運 転</b> ● 刈取装置の上には乗らないでください。 ● 急激な制動停止方法を熟知してください。 ● 石の多い場所での作業は行わないでください。
<b>取 扱</b> ● 機械の修理・点検・清掃を行なうときはエンジンを停止して、機械の動きが完全に止まってから行ってください。 ● 脱脂剤・伝染物は常にきれいな状態に保ってください。 ● 安全カバーはかならず規定の位置に設置してください。	

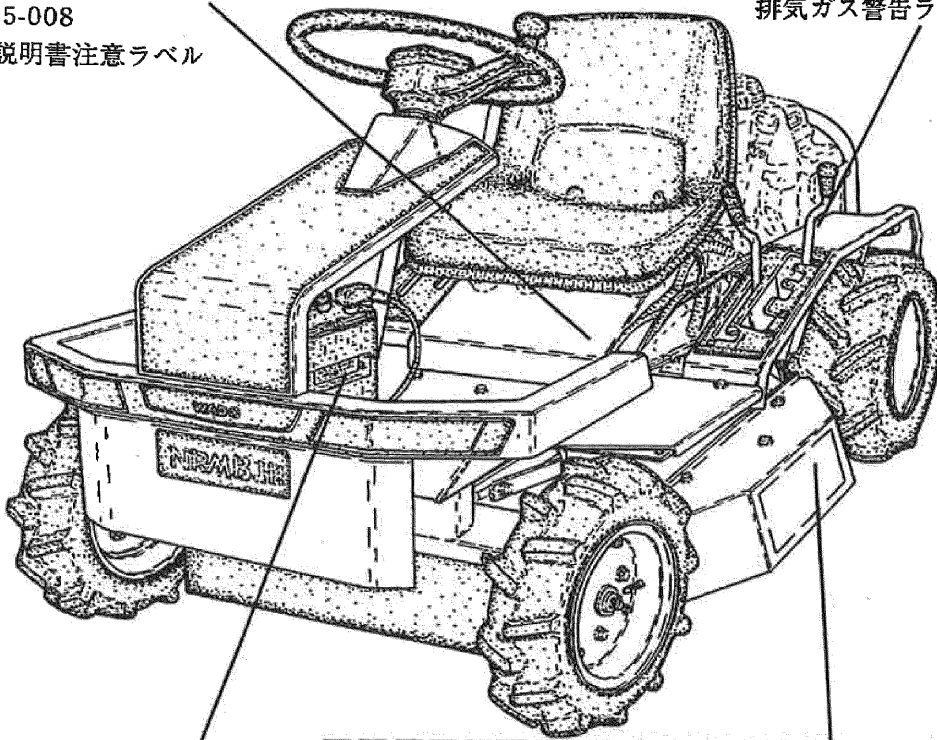
91195-008  
取扱説明書注意ラベル

<b>▲ 注意</b>		マフラー高温注意 むむむとやけどをするおそれがあります。
-------------	---	---------------------------------

91195-001  
マフラー注意ラベル


<b>▲ 警告</b>		排気ガスに注意 室内および排気の悪い場所での運転は、排気ガスが充満し、人様に有害です。
-------------	---	--

91194-008  
排気ガス警告ラベル




火災防止、刃物危険、二重危険、脱脂剤危険、伝染物危険 危険な作業は必ず安全な方法で行ってください。必ず取扱説明書をよく読んでください。 危険な作業は必ず安全な方法で行ってください。必ず取扱説明書をよく読んでください。 危険な作業は必ず安全な方法で行ってください。必ず取扱説明書をよく読んでください。

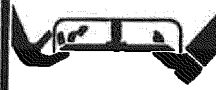
91193-003  
バッテリー危険ラベル

<b>▲ 注意</b>		● デッキカバーは常に装着し、閉じてください。 ● はずしたまま、あるいは開放したままで運転するとケガをするおそれがあります。
-------------	---	--

79920-M72-000  
刈取部注意ラベル

<b>▲ 注意</b>
 点検時 エンジン 停止
● 点検作業をするときは、エンジンを停止してください。● ケガをするおそれがあります。

91195-002  
点検時注意ラベル

<b>▲ 警告</b>

● エンジンまたは刈刃が回転中は、手や足を刈取装置の中や下へ入れないでください。 ● ケガをするおそれがあります。

91194-009  
刈刃警告ラベル

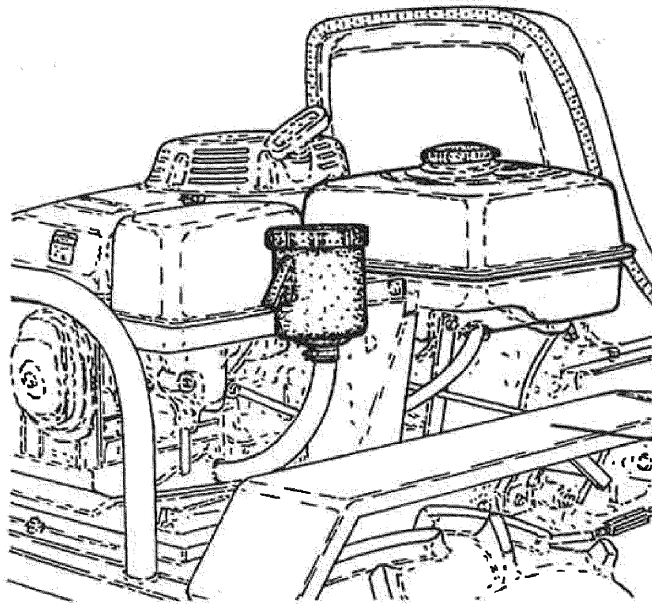
<b>▲ 危険</b>

● 作業時はかならず周囲に人がいないことを確認してください。 ● 飛散物により人がケガをするおそれがあります。

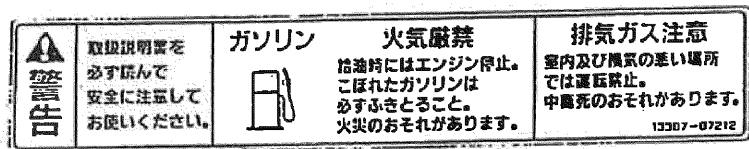
91193-009  
飛散物危険ラベル



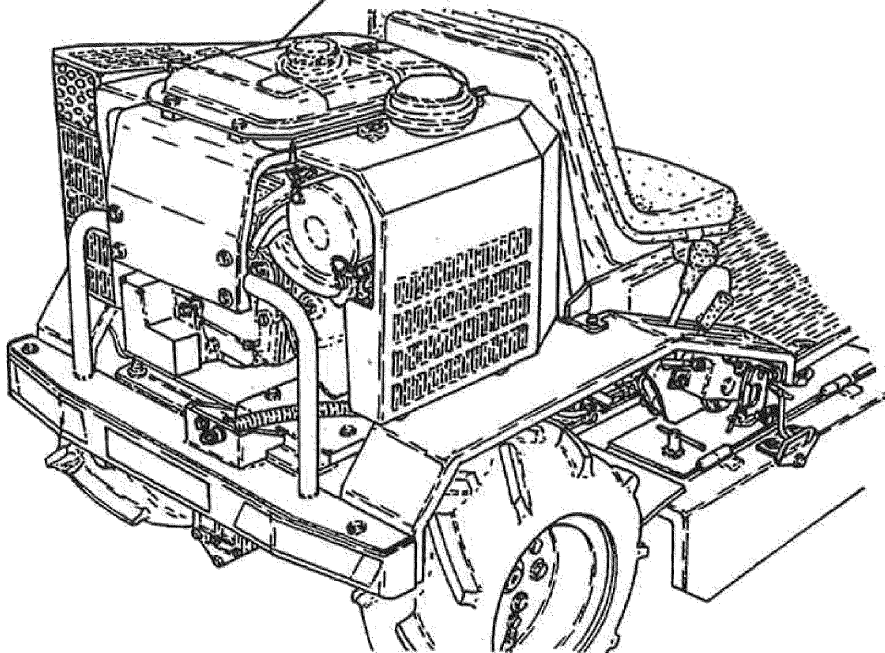
# 1. 警告ラベルの貼付位置



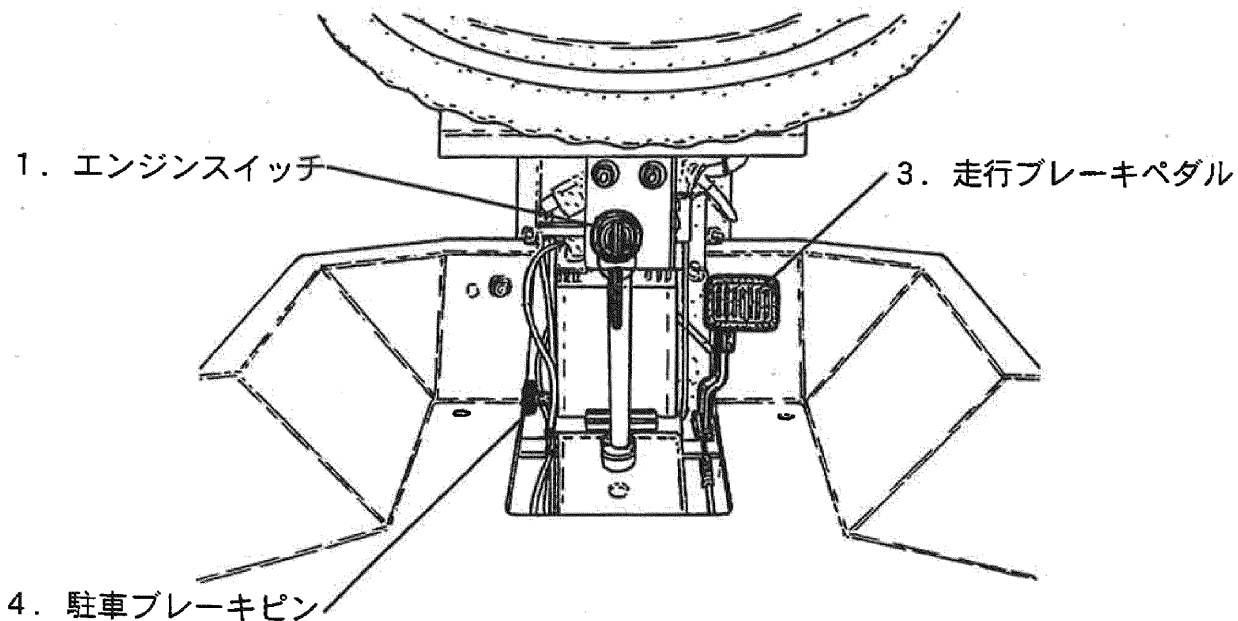
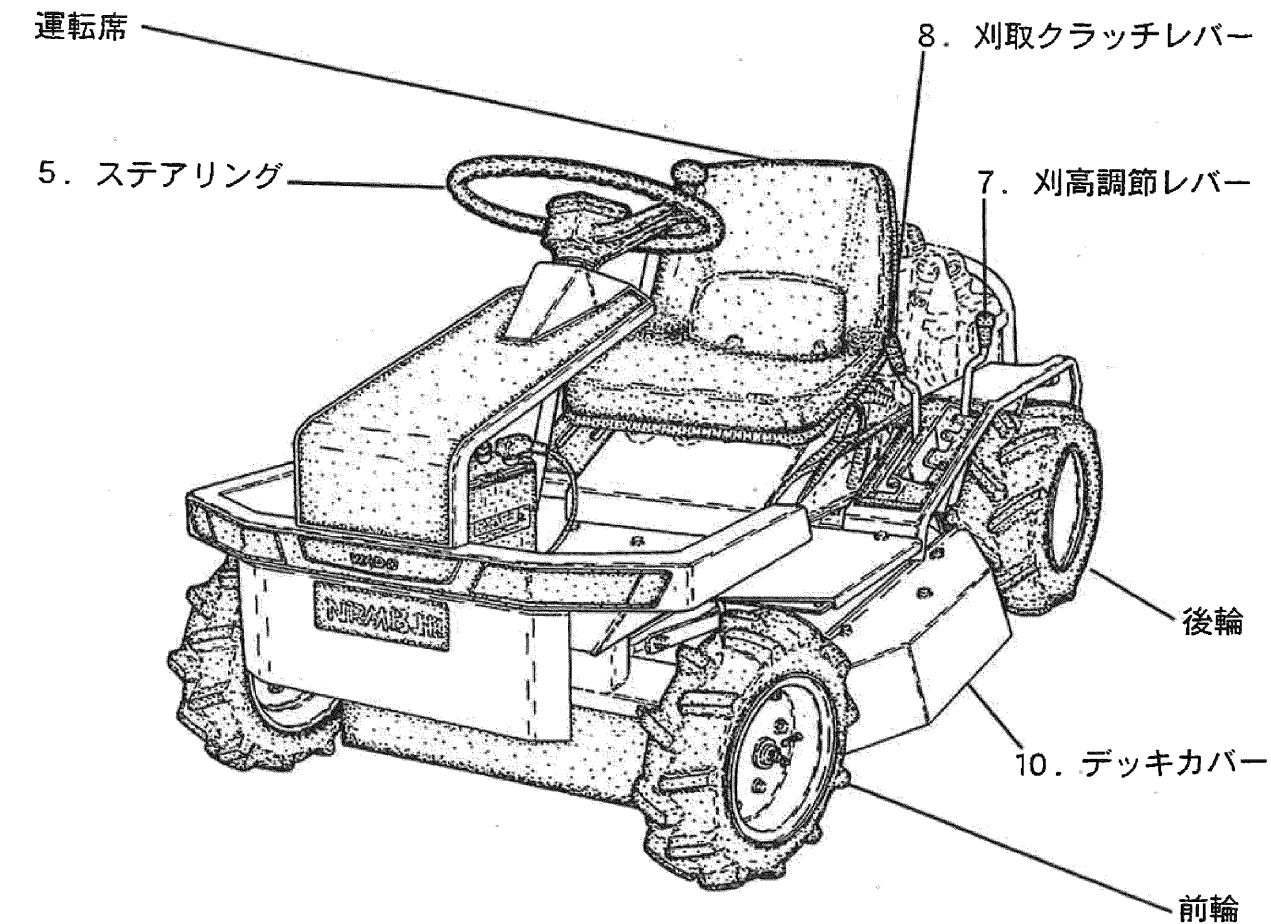
91193-004  
火気厳禁ラベル (ガソリン)



13387-87213  
チュウイラベル



## 2. 各部の名称と取扱い要領

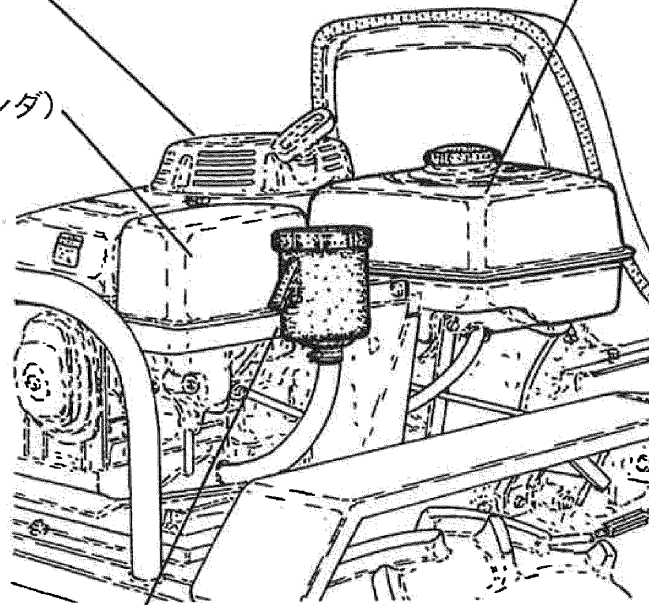


## 2. 各部の名称と取扱い要領

エンジン (ホンダ)

燃料タンク (ホンダ)

エアクリナー (ホンダ)

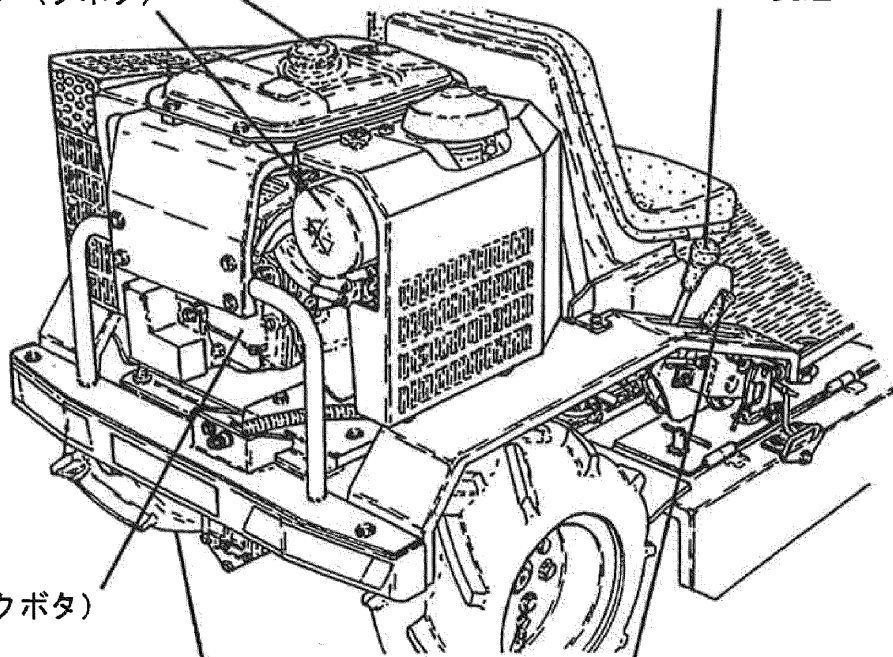


ミッションオイルサブタンク

燃料タンク (クボタ)

エアクリナー (クボタ)

6. 変速レバー



エンジン (クボタ)

9. ミッションフリーレバー

2. エンジン回転調節レバー

## 2. 各部の名称と取扱い要領

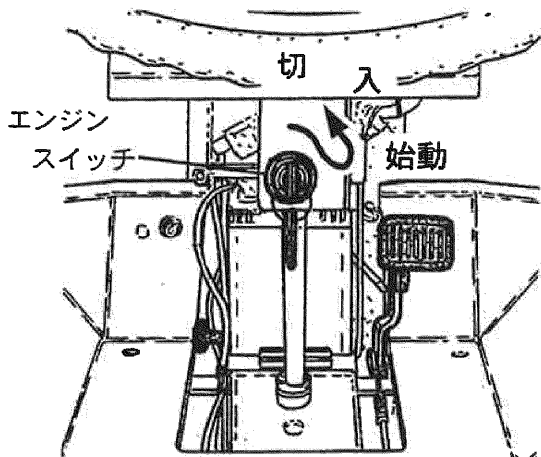
### 1. エンジンスイッチ

3つの位置があります。

「切」—— エンジンが停止します。  
(キーの抜き取り)

「入」—— 各電装品スイッチまで電流が流れ、電装品は作動します。

「始動」—— エンジン始動用セルモーターが回転します。エンジンが始動したら、ただちにキーから手を離してください。キーは自動的に「入」位置に戻り、連続運転に入ります。

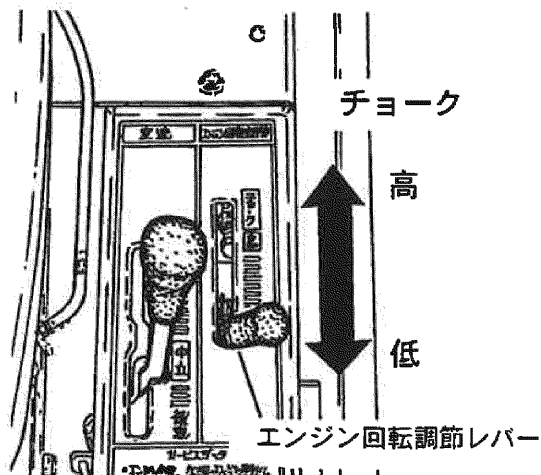


### ▲ 注意

作業時以外はキーを取り外しておいてください。

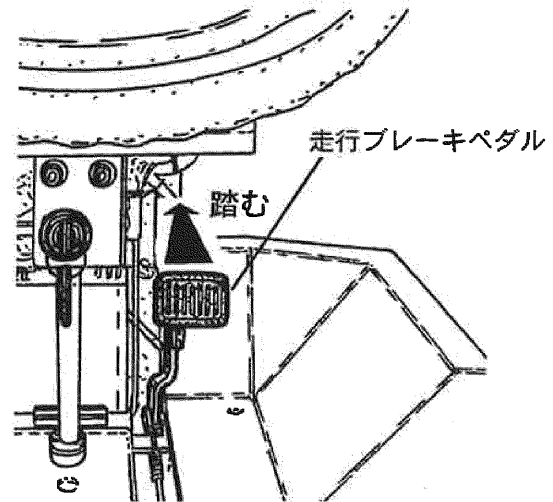
### 2. エンジン回転調節レバー

エンジン回転を調節するレバーです。「低」側になるとエンジン回転が下がります。「高」側になると上がります。「チョーク」位置はエンジン始動時に、エンジンが冷えているとき使います。



### 3. 走行ブレーキペダル

減速・停止をする場合に使用します。走行ブレーキペダルを踏むと、変速レバーが中立位置に戻り、後輪にブレーキをかけます。また走行ブレーキペダルを踏んでいると変速レバーは操作できません。

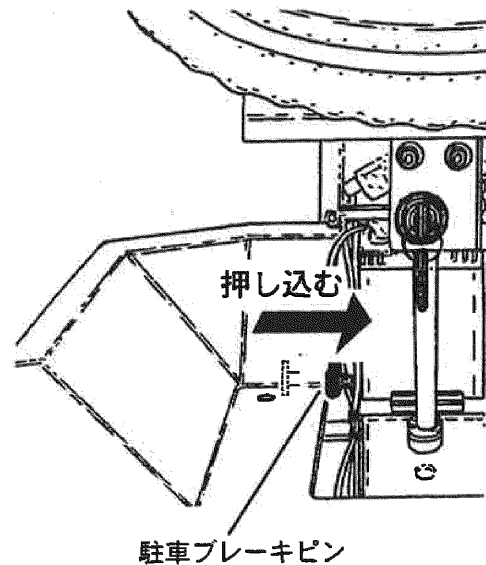


### 4. 駐車ブレーキピン

本機から離れる場合に、使用します。

走行ブレーキペダルを踏み込んで、駐車ブレーキレバーを内側に押し込みます。

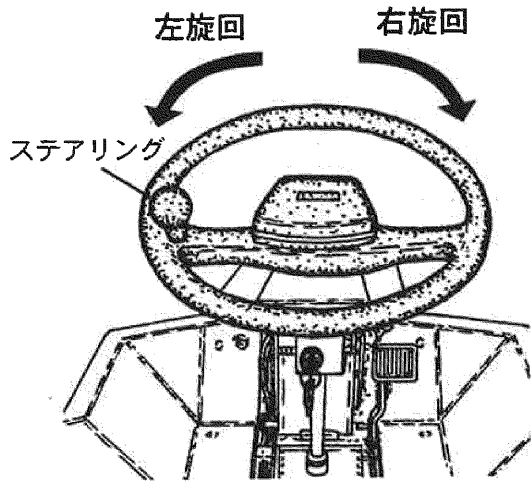
解除するときは走行ブレーキペダルを少し踏み込みます。



## 2. 各部の名称と取扱い要領

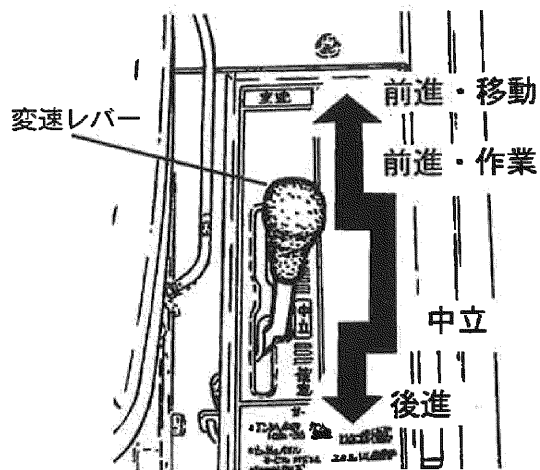
### 5. ステアリング

進路を変える場合に使用します。右に回すと右旋回、左に回すと左旋回します。



### 6. 変速レバー

前進・後進をする場合に使用します。前側に倒すと前進、後側に倒すと後進します。



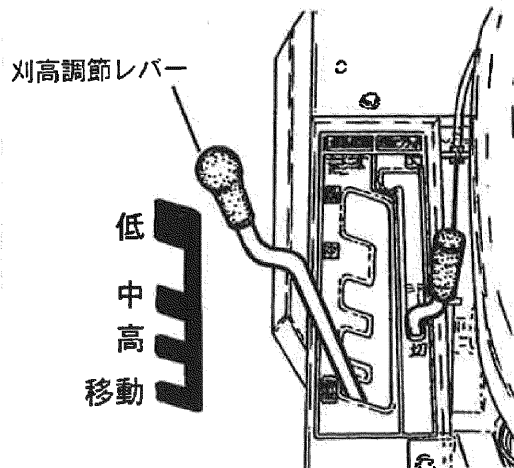
### ⚠ 注意

1. エンジン始動時は「中立」位置にしてください。
2. 変速レバーの急激な操作はご遠慮ください。
3. 刈取り作業時は「作業」位置までの範囲で操作してください。

### 7. 刈高調節レバー

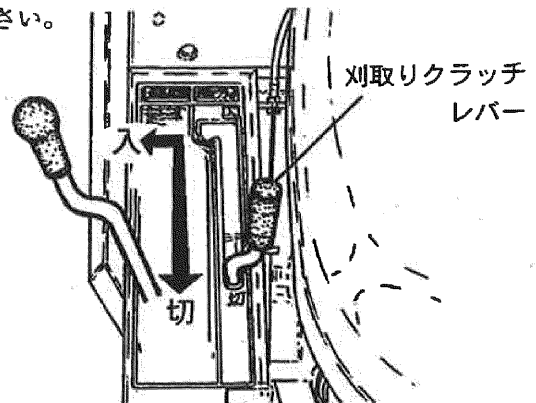
刈取部の高さを調節する場合に使用します。

- 「低」—— 低く刈取りたいときに合わせます。  
「中」—— 中くらいの高さで刈取りたいときに合わせます。  
「高」—— 高く刈取りたいときに合わせます。  
「移動」—— 移動時に合わせます。



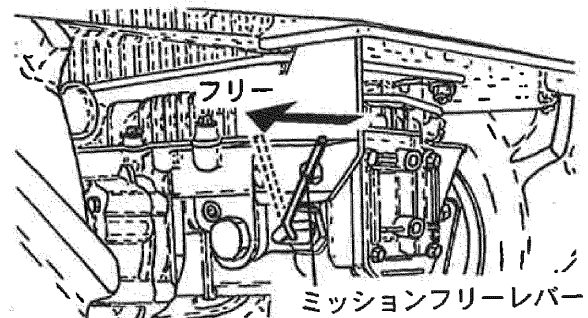
### 8. 刈取クラッチレバー

刈刃を回転させる場合に使用します。「入」位置にすると刈刃が回転します。「切」位置にすると刈刃の回転が停止します。作業時以外は「切」位置にしてください。



### 9. ミッションフリーレバー

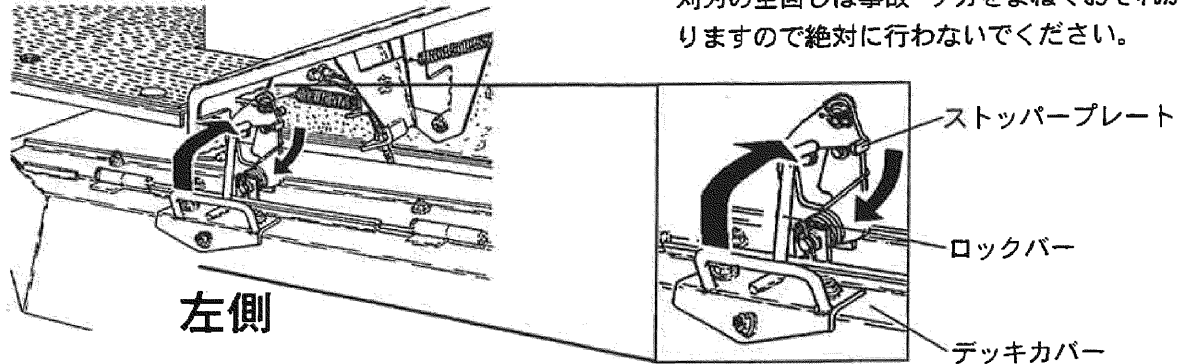
エンジンをかけずに本機を移動する場合に使用します。ミッションフリーレバーをフリー側に倒すと移動できるようになります。



## 2. 各部の名称と取扱い要領

### 10. ロックバー

デッキカバーを開いたときに保持させるのに使用します。刈高調節レバーを移動の位置にして、ストッパープレートのレバー部分を押し下げながら、「カチッ」と音がするまでグリップを持ち上げるとデッキカバーが開き、ロックします。解除は刈高調節レバーを低位置にすると自動的にロックが外れます。



### ⚠ 危険

1. デッキカバーの開閉は、刈高調節レバーを「移動」の位置にしてから行ってください。
2. 刈取り作業前にデッキカバーを閉じていることを必ず確認してください。
3. デッキカバーを開いたままでの刈取り作業や、刈刃の空回しは事故・ケガをまねくおそれがありますので絶対に行わないでください。

## 3. 運転前の準備・点検

快適で安全な作業をするためには、機械の状態をいつも最良にしておくことが大切です。本機の回りを一周して、始業前点検を行ってください。

### ⚠ 警告

1. 点検・整備を行うときは、必ず平坦なところでエンジンを停止させてから行ってください。
2. 燃料補給時は、くわえタバコ等火気厳禁です。燃料補給後は燃料給油キャップを確実に締め、燃料タンクや燃料パイプ等からの燃料もれがないか点検してください。守らないと火災事故の原因になります。
3. 燃料は給油口の口元まで入れず、所定の給油限界位置まで補給してください。入れすぎるとガソリンが燃料給油キャップからにじみ出ることがあり危険です。
4. ガソリンはこぼさないように補給してください。万一こぼれたときは、布などで完全にふき取り、火災、環境に注意し、処分してください。
5. エンジンが熱い間は、点検・整備等は絶対にしないでください。ヤケドをするおそれがあります。

1. 燃料の量 ..... 無鉛ガソリン  
6リットル
2. エンジンオイルの量・汚れ
3. ミッションオイルの量
4. バッテリー液の量
5. エアクリーナーの汚れ

### 3. 運転前の準備・点検

- |                         |   |
|-------------------------|---|
| 6. 前輪・後輪の状態             | 草・泥詰まりの除去<br>空気圧 前輪 1.2 kg/cm <sup>2</sup><br>後輪 1.4 kg/cm <sup>2</sup> |
| 7. 刈刃の状態                | 刈刃の磨耗<br>締付け状態<br>ボルト・ナットの磨耗・切れ   |
| 8. 刈取部に草・異物が詰まっていないか    |   |
| 9. 走行ブレーキペダルの作動         |   |
| 10. 変速レバーの作動            |   |
| 11. ステアリングの作動           |   |
| 12. 各部のボルト・ナットの締付け      |   |
| 13. 各部に異音、異常振動が発生していないか |   |

### 4. エンジン始動・停止

#### ●始動

1. 燃料コックを「開」位置にします。
2. 運転席に着席します。
3. 変速レバーを「中立」位置にします。
4. 刈取クラッチレバーを「切」位置にします。
5. 刈高調節レバーを「移動」位置にします。
6. エンジン回転調節レバーを「チョーク」位置にします。
7. エンジンスイッチを「入」位置にします。
8. 走行ブレーキペダルを踏みながら、エンジンスイッチを「始動」位置にしてセルモータを回します。
9. エンジンが始動したら、すみやかにキーから手をはなします。

・エンジン始動後は、約5分間は負荷をかけずに暖機運転をしてください。

・約10秒以上セルモータを回してもエンジンがかからない場合は、いったんエンジンスイッチを「切」位置にし、1分以上休んでから再び始動させてください。

#### ●停止

1. エンジン回転調節レバーを「低」位置に戻してエンジン回転を下げます。
2. エンジン回転がアイドル状態で2～3分空運転をしてください。
3. エンジンスイッチを「切」位置にします。エンジンが停止します。

#### ⚠危険

1. 本機から離れる場合は、エンジンスイッチを「切」の位置にし、エンジンが停止したのを確認してください。
2. 駐車ブレーキピンにより確実に本機を駐車状態にしてください。  
(P21、2.4. 駐車ブレーキピン 参照)

## 5. 定期点検・整備一覧表

点検項目		点検時期		300時間運転ごと、または1年1回
		初回20時間目	50時間運転ごと	
エンジンオイル	点検			
	交換	○		○
エアクリーナ	点検			
	清掃		○※1	
走行ベルト	点検			
	交換		○※2	
刈取ベルト	点検			
	交換		○※2	
走行ブレーキワイヤー	点検・調整			○
刈取りクラッチワイヤー	点検・調整			○
刈取りブレーキワイヤー	点検・調整			○
スロットルワイヤー	点検・調整			○
点火プラグ	点検・清掃			○
吸気・排気弁すき間	点検・調整			○※2
燃料タンク	清掃			○※2
燃料ホース	交換	3年ごと		

点検時期は累積作業時間です

※1 ホコリの多い所で使用した場合、エアクリーナの清掃は、10時間ごとまたは1日1回行って下さい。

※2 これらの項目は適切な工具と整備技術を必要としますので、お買いあげの販売店へお申し付け下さい。

### 取り扱いのポイント

・交換後のエンジンオイル、ミッションオイル等はゴミの中や地面、排水溝などに捨てないでください。処理方法は、法令で義務づけられています。法令に従い適正に処理してください。不明な場合はオイルをお買上げになったお店にご相談の上、処理してください。

※ 廃棄物処理法、水質汚濁防止法



## 6. 保守・点検

### 1. エンジンオイル

#### ●交換時期

初回20時間で、その後は100時間ごと、または草刈時期ははじめに交換してください。

#### ●点検のしかた

オイル量の点検は、検油ゲージで行います。オイルの量は図に示す範囲にあれば適量です。オイルの汚れ、粘りの程度も入念に調べてください。

#### ●推奨オイル

ガソリンエンジン用オイル

10W-30 SE級

NRM13 JH 1.1リットル

NRM13 JK 1.3リットル

#### ●交換のしかた

検油ゲージをはずし、ドレンボルトをはずしてオイルを抜いてください。完全に抜けたら、ドレンボルトを確実に締め付けて、検油ゲージの上限まで新しいオイルを注入してください。注入後検油ゲージを締め付けてください。

ホンダ

検油ゲージ

ドレンボルト

クボタ

検油ゲージ

ドレンボルト

#### ▲注意

・エンジン停止直後は、エンジン本体、エンジンオイルの温度が高くなっています。エンジンが冷めてからオイル交換を行ってください。火傷をするおそれがあります。

・オイルは使用しなくても自然に劣化します。定期的に点検・交換を行ってください。

・検油ゲージ・ドレンボルトは確実に締め付けてください。締め付けがゆるいとオイルがにじみ出ることがあります。

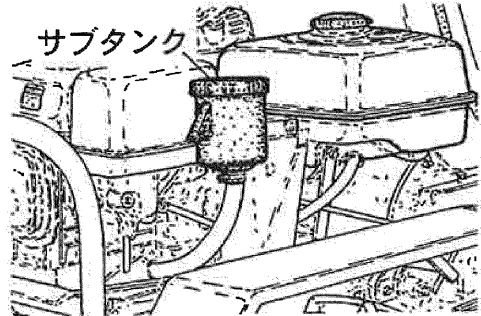
### 2. ミッションオイル

#### ●点検のしかた

ミッションが冷えている状態で、油面がミッションオイルサブタンクの「FULL COLD」付近にあれば適量です

#### ●推奨オイル

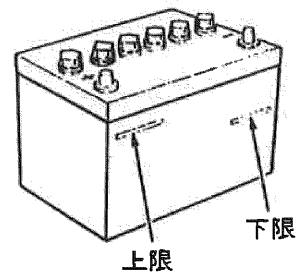
モービルオイル製 DTE26 相当品



### 3. バッテリー

#### ▲警告

・バッテリー液が「上限」と「下限」の間にあることを確認し、「下限」以下にしないでください。容器内の極板接続部がバッテリー液から露出し、エンジン始動時に火花が出て、容器内のガスに引火して破裂するおそれがあります。



#### ●蒸留水の補充

充電・放電を繰り返すとバッテリー液は減少しますので、液面が規定位置まであるかを調べ、少なければ蒸留水を上限のラインまで補充してください。

#### ▲注意

・バッテリーの点検時、液層キャップを開けたときは火気厳禁です。

・バッテリー液を身体や衣服に付けないようにしてください。付着したときは、すぐに水で洗い流してください。

・急速充電はさけてください。

・バッテリーの取付は+側から、取り外しは-側から外してください。

・バッテリーを交換するときは、必ず取扱説明書の指定した容量のバッテリーを使用してください。

・指定バッテリー：34A19R

## 6. 保守・点検

### 4. エアクリーナ

#### ●清掃時期

50時間ごと

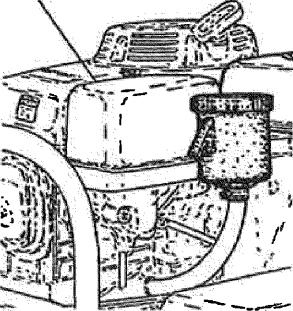
ホコリの多い場所で使用した場合は作業前か10時間ごと

#### ●清掃のしかた

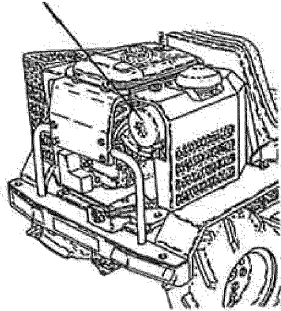
1. エアクリーナカバーを取り外します。
2. ろ紙は内側から圧縮空気を吹き付けるか、又は軽くたたいて汚れを落とします。汚れがひどい場合は交換してください。
3. (NRM13JHのみ)

ウレタンのろ過部は中性洗剤を水で薄めて洗い、更に水ですすいでから圧縮空気を吹き付けるか、又はよく絞って乾かします。次にオイルに浸した後固く絞ってから取り付けます。

エアクリーナ (ホンダ)  
NRM13JH2



エアクリーナ (クボタ)  
NRM13JK2



### 5. 点火プラグ

#### ●清掃時期

100時間ごとに行ってください。

#### ●清掃のしかた

1. プラグレンチで点火プラグを取り外します。
2. プラグクリーナで電極を清掃してください。

#### ●調整

側方電極をつめ、火花隙間を0.7~0.8に調整します。

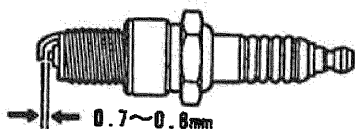
<標準点火プラグ>

#### ・NRM13JH

NGK製 BPR5ES  
ND製 W16EPR-U

#### ・NRM13JK

NGK製 BPR4HS-10  
ND製 W14FPR-UL10



## ⚠ 注意

- ・標準以外の点火プラグを使用しないでください。
- ・エンジン停止直後はエンジン本体、点火プラグの温度が高いため、エンジンが冷めてから点火プラグの交換を行ってください。火傷をするおそれがあります。
- ・プラグの取付は、ネジ山をこわさないように、まず指で軽くねじ込み、次にプラグレンチで確実に締め付けてください。

### 6. 刈刃の交換、修正

#### ●刈刃の取外しかた

1. 刈取部右側のデッキカバーを外します。
2. 丈夫な革手袋などをして、刈刃締付けボルト先端の割ピンを外し、付属の替刃押サエで刈刃を押さえ、付属の替刃レンチで刈刃締付けボルト・ナットをゆるめます。

#### ●刈刃の取付け

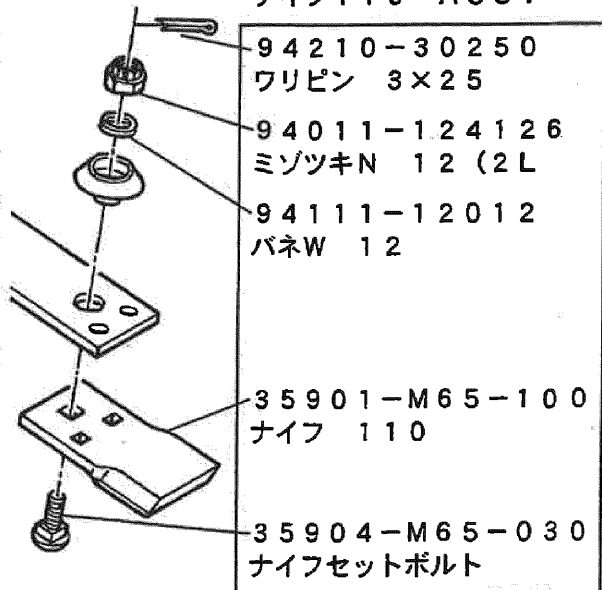
1. 刈刃の取付けは取外しと逆の順に部品を組み付けてください。また、ボルト・ナットが確実に締付けられていることを確認してください。
2. 刈刃を取付けてから、刈刃を手で回してスムーズに回転することを確認してください。
3. 刈取部にデッキカバーを取付けます。

<純正替刃>

品番 90001-M72-100

品名 ナイフ110 ASSY

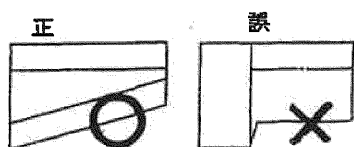
90001-M72-100  
ナイフ110 ASSY



## 6. 保守・点検

### ●刈刃の修正

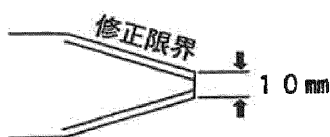
1. 刈刃を取外します。
2. 以下の要領で刈刃を研磨してください。
  - ・刈刃を研磨するときは、刈刃をしっかりと保持してください。
  - ・刈刃を元の刃と平行に研磨しますと、折損の原因となります。下図のように研磨してください。



- ・刈刃のバランスをくずさないように両側の刃を同量研磨してください。
- ・刈刃を研磨するときは元の刃の角度を維持してください。
- ・刃先には0.4～0.6程度の平らな部分を残しておいてください。カミソリのように刃先をとがらせると、すぐに刃先が磨耗し切れ味が鈍くなります。



- ・刃先が下図のようになったら、新しい刈刃と交換してください。



### ⚠ 注意

- ・刈刃の取外し、取付け、修正、交換等の作業は適切な整備技術をお持ちの方が実施してください。
- ・刈刃の点検、修正、交換等の作業を行うときは必ず革手袋などの丈夫な手袋をしてください。
- ・刈刃を交換する場合は純正刈刃をご使用ください。
- ・グラインダー等を使用するときは保護具などを付けて、安全に注意して使ってください。

## 7. ヒューズ

ヒューズが切れたときは、その原因を調べてから規定容量のヒューズに交換してください。そのまま交換しても再び切れるおそれがあります。本機のヒューズケースはエンジンスイッチ右側にありますので、キャップを開けヒューズを交換してください。

品番 91811-110

品名 ブレードヒューズ 10A

## 8. 注油・グリース

回転部・摺動部への注油は時々行ってください。グリースニップルの付いているところはグリースアップをしてください。

- ・フロントアクスル
- ・刈高リンク
- ・ステアリングギア
- ・その他回転部・摺動部

## 7. 上手な刈取りのしかた

### ⚠ 注意

・機械の回転部、作動部は、注意をおこたったり取扱いをあやまると、たいへん危険です。刈取り作業にあたっては、安全のため、次の要領で行ってください。

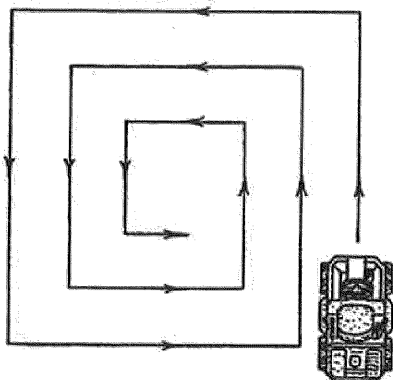
#### 1. 刈取り作業開始の要領

1. エンジンを始動します。
2. エンジン回転調節レバーを「高」位置に合わせます。
3. 刈高調節レバーを使用したい位置に合わせます。
4. デッキカバーが閉じているか確認します。
5. 刈取クラッチレバーを「入」位置にします。
6. 走行ブレーキペダルから足を離します。
7. 変速レバーを「作業」位置までの範囲で使用したい位置に合わせます。

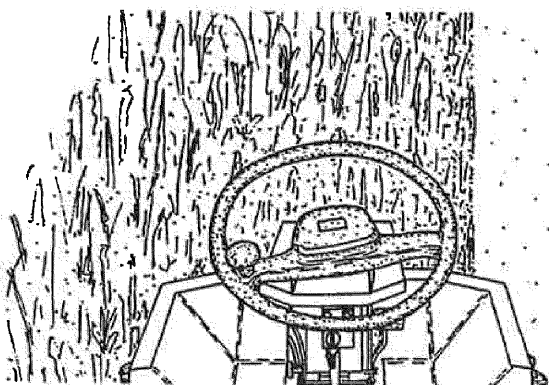
\*小石やその他の異物は飛散しケガをするおそれがあります。作業前に取り除いてください。

\*作業中は周囲の状況にも気を配り人を近づけないでください。飛散物があたりケガをするおそれがあります。

<刈取りパターン>



<刈取りの目安>



#### 2. 刈取り作業の要領

1. 刈取り作業速度は、「作業」位置までの範囲で使用してください。
2. 作業はエンジン回転を落とさずに行うことが重要です。左下に示すパターンと目安を参考にして、草の種類、草地条件に適した刈り方をしてください。
3. たけの高い草、密集している草、濡れている草を刈取る場合、エンジン回転が低下することがあります。その場合は、以下のようにしてください。
  - ・走行速度を落とす。
  - ・刈高さを高くする。
4. 後進する場合は、刈取り部を「移動」位置にし、後方の安全を確かめてから行うようにしてください。
5. 地盤の凸凹がはげしい場所や石などが地面にある場合は、刈高調節レバーを「高」位置にして、石かみの少ない状態で作業してください。
6. 作業中は人や、動物を近づけないでください。特に子供には注意してください。

#### 3. 刈取り作業停止の要領

1. 走行ブレーキペダルを踏みます。
2. 刈取クラッチレバーを「切」位置にします。
3. 刈高調節レバーを「移動」位置に合わせます。
4. エンジン回転調節レバーを「低」位置に合わせます。
5. エンジンスイッチを「切」位置にし、エンジンを停止します。

#### 4. 刈取部に草や異物が詰まったときは

1. エンジンスイッチを「切」位置にし、エンジンを停止します。
2. 刈取部右側のメンテナンスカバーを取外します。
3. 詰まった草や異物を取除きます。
4. 刈取部右側のメンテナンスカバーを取付けます。

### ⚠ 注意

・詰まった草や異物を取除くときは必ずエンジンを停止させ、各部の作動が完全に止まってから行ってください。機械に巻き込まれてケガをするおそれがあります。

・詰まった草や異物を取除くときは革手袋などの丈夫な手袋をしてください。

## 8. 作業後の手入れについて

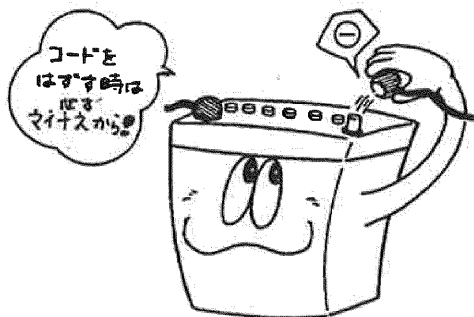
### ⚠ 注意

・手入れをする場合は、回転部、作動部は大変危険です。必ずエンジンを停止してから行ってください。

・水洗いするときは、エンジン部に水をかけないでください。

・バッテリーコードをバッテリーから外すときは、必ず一側から行ってください。また、取付けるときは+側から行ってください。逆にすると、工具などが接触したときショートして大変危険です。

・本機にシートをかける場合は、エンジンが冷めてから行ってください。



### 1. 作業後の手入れ

1. 機体に付着した草や泥を取り除いてください。

2. 回転部・摺動部に注油・グリースアップをしてください。

- ・フロントアクスル
- ・刈高リンク
- ・ステアリングギア
- ・その他回転部・摺動部

3. キーを取り外してください。

### 2. 長期間使用しない場合の手入れ

シーズンが終わり、長期保管の場合、次のことを守ってください。

1. 燃料タンク・気化器内のガソリンを抜いてください。

2. エンジンオイルを交換してください。

3. エアクリーナを清掃してください。

4. 各部を清掃し、締付け点検をしてください。

5. 回転部・摺動部に注油・グリースアップをしてください。

6. 欠損部品・磨耗部品は、次期使用にそなえ、早めに注文・交換しておくことが大切です。重要部品（エンジン、ミッション）の分解は、専門的な調整が必要です。必ずお買上げのサービス店に依頼してください。

7. バッテリーは本機より取り外し、直射日光のあたらない乾燥した場所で保管してください。また、バッテリーは使わなくても自己放電します。夏期は2カ月に1度、冬期は1カ月にごとに完全補充電を行ってください。

8. 手入れの後は、シートをかけておきましょう。シートが濡れていますと機械がさびる原因となりますので注意してください。

9. 保管場所は、湿気・ホコリのない風通しの良いところを選んでください。

10. 刈取クラッチレバーは「切」位置にし、変速レバーは「中立」位置にしてください。

11. キーを取り外してください。





# 10. 故障・修理方法早見表

状況	点検箇所	処置
エンジンがかからない	刈高調節レバーを「移動」位置にしていますか	刈高調節レバーを「移動」位置にします
	走行ブレーキペダルを踏みながらエンジンスイッチを「始動」位置にしましたか	走行ブレーキペダルを踏みながらエンジンスイッチを「始動」位置にします
	エンジン回転調節レバーを「チョーク」位置にしていますか	エンジン回転調節レバーを「チョーク」位置にする
	ヒューズが切れていませんか	ヒューズを交換する
エンジンが停止する	燃料タンクに燃料が入っていますか	燃料タンクに燃料を入れる
	刈高調節レバーを「低」「中」「高」位置のいずれかにしたまま運転席を離れましたか	危険防止の為、刈高調節レバーを「低」「中」「高」位置のいずれかにした場合は運転席を離れないようにしてください
	刈取部に草・異物がつまっていますか	刈取部の草・異物を取り除く
走行しない	走行ブレーキペダルを踏んだままにしていますか	走行ブレーキペダルから足を離す
	走行ベルトが折損していませんか	走行ベルトを交換する
速度がでない	前輪・後輪に空気が入っていますか	前輪・後輪に空気を入れる
	ミッションのオイルレベルは適正ですか	点検し、足りなければ補給する
刈取クラッチを「入」位置にしても刈刃が回転しない	刈取ベルトが外れていませんか	刈取ベルトをかける
	刈取ベルトが折損していませんか	刈取ベルトを交換する
	刈取ベルトがスリップしていませんか	刈取クラッチワイヤーを調整する
	刈取部に草・異物がつまっていますか	刈取部の草・異物を取り除く
刈刃を回転させても、草が刈りにくい	エンジン回転調節レバーを「高」位置にしていますか	エンジン回転調節レバーを「高」位置にします
	走行速度が草の種類・草地条件に適していますか	適正速度にする
	刈刃が減っていませんか。また欠けていませんか	刈刃を交換する



# 1 1. 主要諸元

		NRM13JH2	NRM13JK2	
機体寸法	全長	mm	1,700	
	全幅	mm	965	
	全高	mm	880	
	装備重量	kg	220      230	
性能	最大刈取能力	a/h	33	
エンジン	型式		GXV390      GH400V	
	最大出力	ps/rpm	13/3,600	
	始動方式		セルスタータ	
	点火プラグ	NGK製	BPR5ES	BPR4HS-10
		ND製	W16EPR-U	W14FPR-UL10
バッテリー		34A19R		
走行部	ミッション型式		751-057J	
	速度	前進	km/h	0~7.5
		後進	km/h	0~4.0
	タイヤ	前輪		3.50-7
		後輪		16×7.00-8
	空気圧	前輪	kg/cm <sup>2</sup>	1.2
		後輪	kg/cm <sup>2</sup>	1.4
	トレッド	前	mm	760
		後	mm	670
	ホイールベース	mm	1,175	
刈取部	刈取幅	mm	830	
	刈取高	mm	10~55	
ベルト	走行		RCLA28	
	刈取		LB60	

## 12. 標準付属品および主要消耗部品

・本機には次の部品が付属していますので、お買い求めの際、お確かめ下さい。

### NRM13JH2

部品番号	部品名	個数	備考
91901 - M72 - 030	取扱説明書	1	
90001 - M72 - 100	ナイフ・ボルト ASSY	2	
99100 - M72 - 800	替刃レシ	1	
99901 - M72 - 800	替刃押サ	1	
99004 - 21002	ボックスレシ P21	1	
91811 - 110	ブレードヒューズ 10 A	1	

### NRM13JK2

部品番号	部品名	個数	備考
91901 - M72 - 030	取扱説明書	1	
90001 - M72 - 100	ナイフ・ボルト ASSY	2	
99100 - M72 - 800	替刃レシ	1	
99901 - M72 - 800	替刃押サ	1	
12181 - 89116	トリアツカ化ツメシヨ	1	エンジン取扱説明書
12301 - 86151	コウケブ知	1	
12633 - 91211	14 × 21 ボックスパナ	1	
91811 - 110	ブレードヒューズ 10 A	1	

・本機の主要消耗部品

部品番号	部品名	備考
26001 - M40 - 101	タイヤ L ASSY 3.50-7	前輪・左
26002 - M40 - 101	タイヤ R ASSY 3.50-7	前輪・右
26001 - M07 - 100	タイヤ L ASSY 16 × 7.00-8	後輪・左
26002 - M07 - 100	タイヤ R ASSY 16 × 7.00-8	後輪・右
37100 - M72 - 001	デッキカバー L COMP	刈取部・左カバー
37300 - M72 - 002	デッキカバー R COMP	刈取部・右カバー
38901 - M72 - 000	フロントシールド	前下部・ゴム板
38902 - M72 - 000	リアシールド	後下部・ゴム板
90001 - M72 - 100	ナイフ・ボルト ASSY	替刃・一式
91651 - 0511028	レンジコグベルト RCLA28	走行ベルト
91651 - 0209060	レンジベルト LB60	刈取ベルト
91890 - 034A19R	バッテリー 34A19R	バッテリー
91811 - 110	ブレードヒューズ 10A	



 和同産業株式会社

本社・工場 〒025-0035 岩手県花巻市実相寺410番地  
TEL 0198-24-3221 FAX 0198-41-1221

花巻営業所 〒025-0035 岩手県花巻市実相寺410番地  
TEL 0198-24-3221 FAX 0198-41-1221


長野営業所 〒381-2241 長野県長野市青木島町青木島乙555-3  
TEL 026-284-8885 FAX 026-291-1237

岩見沢営業所 〒068-0852 北海道岩見沢市大和2条3丁目9番地  
TEL 0126-22-6221 FAX 0126-32-2162

お客様メモ

購入日	平成	年	月	日
購入店				

91901-M72-030

 06.03.0035